

逓信省報告

閣議第一〇二號

起 昭和十八年三月

閣議 昭和十八年三月三日施行

日 月 年 日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

外務大臣

由

海軍大臣

五

商工大臣

五

大東亞大臣

五

内務大臣

春

司法大臣

五

逓信大臣

五

鈴木國務大臣

五

大藏大臣

興

文部大臣

五

鐵道大臣

五

方濟國務大臣

五

陸軍大臣

五

農林大臣

五

厚生大臣

五

別紙 生鲜食料品價格對策要綱及國內價格卜輸入價格卜調整ニ関スル件

企畫院總裁報告
右供覽

生鮮食料品價格對策要綱(案)

昭和十八年二月十六日閣議決定「緊急物價對策要綱」ニ基キ左記ニ依リ生鮮食料品價格對策ヲ樹立實施スルモノトス

記

- 一 戰時國民生活上必需ノ品種ニ重點ヲ置キ之ヲ供給ノ増強ヲ期スルト共ニ比較的不急ト認メラレ且ツ他品種ノ生産確保上等ニ支障アルモノニ付テハ其ノ生産ヲ抑制スル如ク品種間價格ノ調整ヲ行フコト
- 二 生産及配給ノ實情ニ即應シ必要ニ應ジ一定基準ニ基キ價格ニ彈力性ヲ賦與スル等ノ方法ニ依リ生産及出荷ノ調整ニ資スルコト
- 三 現行公定價格品ノ品種ノ分類ハ相當緊要ニ亙ルモノアル處生産事情ニ應ズルト共ニ出荷配給機構ノ整備等ヲ俟テ配給業者、消費者等ニ於ケル諸事情ヲ考慮シ適當ナル類型價格ニ包摂シ公定價格ノ簡明化ヲ圖ルコト

- 四、必要ニ應ジ適當ナル検査制度等ヲ活用シ公定價格ノ範圍内ニ於テ鮮度、規格ニ照應スル價格ヲ實現セシムル爲検査制度及價格評價委員會機構等ヲ整備強化シ之ヲ統一的ナル運営ヲ圖ラシムルコト
- 五、生鮮食料品ノ品種ニ應ジ其ノ季節性地域性ヲ慎重ニ考慮シ中央地方ヲ通ジ現行季節別價格及地域別價格ノ格差ヲ適正ナラシムルコト
- 六、現行公定價格ニハ生産者ノ最高販賣價格ノ設定ナク割當出荷ノ關行ニ支障ヲ來ス虞アルヲ以テ出荷及配給ノ機構整備ト取引方法ノ改善トニ即應シテ生産者價格ノ設定ヲ考慮スルコト
- 七、價格ノ適正圓滑ナル運用ニ資スル爲速力ニ出荷配給機構ノ整備ヲ圖ルト共ニ特ニ卸賣市場等ノ賣買方法、手数料制度等ニ付再検討ヲ加フルコト
- 八、貯藏性ヲ有スル優良加工品ノ生産ヲ確保スル爲其ノ生鮮品トノ價格均衡ニ付テハ慎重ナル配意ヲ行フト共ニ不急不要ト認メラルル加工品ハ之ガ生産ヲ抑制スルコト

備考

- 一、生産地消費地間ニ於ケル出荷配給ノ連携ヲ強化スル諸方策ヲ講ズルト共ニ國ノ出荷計畫ニ基キ出荷セラレタルモノニ付テハ生産者ニ對シ一定價格ヲ保障スル爲消費地ト生産地トノ間ニ於テハ特約ヲ爲サシムル等ノ措置ヲ講ズルモノトス
- 二、大衆品ノ生産出荷、貯藏、分荷場ノ増設等ニ關シ必要ナル助成補償ヲ講ズルモノトス
- 三、價格違反ノ防止ニ對シテハ取締ノ強化徹底ヲ圖ルト共ニ業者ノ自主運営ノ責任監査ヲ行ハシメ不正取引ノ絶滅ヲ期スルモノトス

極秘

國內價格ト輸入價格トノ調整ニ關スル件（案）

昭和十八年二月十六日閣議決定「緊急物價對策要綱」ニ基キ左記ニ依リ輸入價格ト國內價格トノ調整ヲ圖ルモノトス

記

輸入品ノ輸入價格ト其ノ國內賣渡價格トノ差額ハ爲替交易調整特別會計等ノ運用ニヨリ之ヲ調整スルコトトシ輸入品ノ國內賣渡價格ハ原則トシテ當該物資ノ國內公定價格（協定價格、停止價格等適法價格ヲ含ム以下同ジ）又ハ當該物資ヲ原料トスル製品（又ハ加工品）ノ國內公定價格決定ニ當リ基礎トスル價格ヲ基準トスルコト但シ

(イ) 輸入品ト國內品トノブール平準價格ヲ以テ國內公定價格トセルモノニ付テハ該價格決定ニ當リテ基礎トセル輸入品ノ價格ヲ基準トスルコト

(ロ) 輸入品ニ付價格補償ヲ爲シ居ルモノニ付テハ現在當該補償額決定ノ基礎トシテ採用セル價格ヲ基準トスルコト

別紙企畫院總裁上申

閣下第一四七號

昭和十六年五月五日

内閣總理大臣

内閣書記官長

外務大臣	海軍大臣	商工大臣	大東亞大臣
内務大臣	司法大臣	逓信大臣	
大藏大臣	文部大臣	鐵道大臣	
陸軍大臣	農林大臣	厚生大臣	

閣下第一四七號

昭和十六年五月五日

内閣書記官長

昭和十六年五月五日

前二項ノ場合輸入數量ノ變動ニ因リ現在ノプール平準價格ノ維持困難トナリタル場合又ハ之ガ引下可能トナリタル場合ハプール平準價格ノ現行維持ヲ圖ルガ如ク輸入品ノ國內賣渡價格ヲ適當ニ變更スルコト

備考

(一) 外地ニ於ケル輸入物資ノ價格調整ハ本件ニ準ジテ之ヲ行フコト

(二) 國內價格決定ニ際シテハ物資ニ依リ輸入價格調整上ノ考慮ヲ加フルコト